

原料費調整制度に基づく2022年10月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年10月検針分の単位料金を調整した結果、2022年9月検針分と比べ、1m³ (45MJ) につき9.62円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年5月～2022年7月の平均原料価格が102,360円/t (2022年10月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を102,360円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2022年9月検針分と比較して、289円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年10月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³)	185.49	170.64	168.44	165.14	156.34	148.64
(参考) 9月 調整単位料金	175.87	161.02	158.82	155.52	146.72	139.02

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2022年 9月	2022年 10月	増減
適用料金(円/月)	5,886	6,175	289

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量 (2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を差し引いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年4月～2022年6月 の平均 (9月 検針分)	2022年5月～2022年7月 の平均 (10月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	102,560	110,940	8,380
LNG	101,840	110,680	8,840
LPG	110,290	110,320	30
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	45,300	53,600	8,300

- ・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)	110,680	×0.9479
+ LPG平均原料価格(貿易統計値)	110,320	×0.0546

110,937.04

↓(10円未満四捨五入)

110,940 円/t (調整上限102,360円/t)

■原料価格変動額の算定

$$\begin{array}{rcccl} \boxed{102,360} \text{ 円/t} & - & \boxed{57,250} \text{ 円/t} & = & \boxed{45,110} \text{ 円/t} \\ \text{(調整上限)} & & & & \downarrow \text{(100円未満切捨て)} \\ & & & & \boxed{45,100} \text{ 円/t} \end{array}$$

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

単位料金調整額 = 45,100 円 /100円×0.0891*1
= 40.18 円*2

*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

＜標準家庭における影響＞

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2022年 9月	2022年 10月	増減
適用料金(円/月)	5,886	6,175	289

- ・標準家庭料金の計算方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,056.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(130.46円)} + \boxed{40.18} \text{ (円)} \times 30\text{m}^3 \\ &\text{料金改定時の基準単位料金(税込) } \uparrow \qquad \qquad \qquad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が102,360円（2022年10月分に適用される調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は102,360円としてガス料金の調整を行います。